

興味を持つて引き込まれる場合が多く、ラヂオ體操等喜んでする所を考へても從來の唱歌遊戯ミ變つた興味を持つて引きつけられるやうな幼兒の爲にのみ造られた基礎的運動の標準がほしいもので御座います(大阪市では最早、統一されたものを實施して居られるそうで御座いますが)私の園でもある名曲に(レコード)簡単な動作をつけて「リズム」體操ミ名づけ實施して居りますが、大變喜んでいたします、完全なもので御座いませぬ故、體位向上にされだけ役立つかは存じませんがその爲に國全體の氣分が統一され、又團體訓練ミしても他の遊戯等には表はれない効果をおさめて居ることは事實で御座います。

(ロ)自由遊ビミの連絡

自由遊ビに於ける戰爭ミごっこ、鬼ミごっこ、なわミび、まりつき等を整理し、指導して遊戯ミして使用したいもので御座います從來の唱歌遊戯ミ律動遊戯ミを一緒にした様なものが出來て幼兒等には大變興味深く、喜ばれます。こみになわミび等、年長組ミもなれば相當に効果がおさめられます。それに幼兒同志の樂隊をつけたり、又ピアノの伴奏にタンバリン、手拍子等だけでも非常に喜び、見てゐる者も、飛んでゐる者も實に愉快さうで時のたつのを忘れてしまひます、たゞ注意せねばならない事は「度」を過ぎぬこと、この點充分心得て居らねばならない事で御座います。

從來の遊戯がミもするミ見せる爲の遊戯になりがちだつた事は否むこゝが出來ません、こゝにレコードの童謡等で間奏の間無意味な動作を長くつゞけたり、度々繰りかへしたりするこゝはほんミに考へねばならないこゝミ存じます。勿論、年に一度や二度の唱歌遊戯會故にさうしてもつきものになつてゐる「見せる爲の遊戯」もこの新體制を模ミして大いに考へ直さねばならないと思ひます、ミ同時に母親達にもこの考へを及ぼして、幼稚園の遊戯について正しい理解を持つていたゞける様指導するのも私達の勤めの一つミ存じます。

手技について

麴町區番町幼稚園

徳久智江子

先づ、幼兒が將來 皇國民ミしての基礎的練成を受けるべき、其の素地を作るのが幼稚園の仕事であるといふ事を頭に置いて、幼兒の生活の中に於て、各保育項目ミ総合的に行はれるべきものである。故にこれの一つだけ切り離して「手技」ミして考へるミ妙な物にはなるが、今までの保育の實際を反省し今後の心構へを考へて見る事ミする。

其の材料について、

(一)、幼児の年齢、發達段階に適したものを

幼児の身體的、精神的方面から見て、あまりに程度の高いものは、徒らに疲勞を來すだけであると同時に、平易に過ぎるのも興味を失つて、努力する習慣を失つてしまふ。それを行ふ爲に、幼児が心的方面にも、實際上にも存分に活躍出来る物が望ましい。勿論、完成の喜びを味はせる爲に、先生が手傳つて悪いといふのでは無いが、少しでも幼児のする部分の多いものを希望する。

其の意味から言つても、まだ何處かに残つて居る、お土産といつて、先生が作つた物を持たして歸す様な風は意味ない事と思ふ。

(二)、幼児の工夫考案の餘地を残して創作の芽生えを養ふ事の出来るもの

幼児が幼児なりに工夫し努力して作りあげる様な材料を、其の指導法が必要と思ふ。従來はやゝもするに、此の紙をかう折つて、……こゝに糊をつけて、こゝあまりに御膳立てが出来すぎて居なかつたであらうか……親切も過ぎるに迷惑に同様に、それではいつも與へられる事ばかり待つて、自分で考へるこゝいふ経験を失ひ、創作の芽を育てる時を逸してしまふと思ふ。

例へば電車を作るにしても、初めから立體的な線を與へ

て作らせずに、先づ自由に平面的に作り、さうすれば屋根と横がつくかを工夫させる。或は箱をこわして見せるのもよからうし、出来上つた物を見せてもよい。そして自分で考へたら、あまりよい考へでないにしても一應させて見る。子供は其處で又よい方法を考へるであらう。そして完成の時は先生も共に大いに喜んでやり、出来上りの巧拙でなしに其の努力を考へた事をほめてやりたいと思ふ。

(三)、大まかな、力一ぱいの仕事を

幼児の手先の細かい神経にうつたへるので無く、全精神體全體で行ふ事の出来る様な大きい事をさせたい。

木工もよい。大きな畫、大きな粘土製作等々全部の人がこれをする事は經費の點から言つても容易でないならば今日は誰々が存分に粘土をつかへるこゝいふ日を作つてやればよいと思ふ。子供はみんなに其の日を楽しみにするであらう。

類に汗をして事をする経験をせひさせたい

(四)、大自然を親しみこれを取入れる事

自然の變化を知らせて、或は雨の自風の日の様子を表現させるに、栽培するチューリップの發育状態を書かせて見るに、か大いに觀察を聯關してこれを取入れて行く。木の葉、木の實、貝、野菜其の他其の場所々々の自然物をもつて利用して形、色、調和の美しさを知らせるに同

時に、自然の不思議、偉大さに敬服する感じを持たせたいと思ふ。

(五)、儀式 年中行事をむすびつける

従来から年中行事は相當に行はれて居るが此の際更に日本古來の美しい風習を研究してこれを取入れて行く。

(六)、其の土地場所にふさはしい物を選ぶ

都會の子は都會の子、農村は農村らしく、其の環境が異なるのであるから先づ幼児の日常生活の中にあるものを用ひる事

かくすれば必然的に日本の子供らしいものが出来て来る。

(七)、幼児がそれを生活に活用する事の出来るものであり、發展性のあるもの

特別の場合を除いては、作つたものを飾つておくので無く、直ぐ生活の中に入れて行く事の出来るもの、こわれてしまふからさいふならば、こわれれば又其の時に今度はこはれない様に作らうといふ事を経験する事が出来るし、こはれた物を利用する事も子供自身考へて行くと思ふ。

先生の方こそしても初めからこはれない物を工夫する様にならう。

又段々次から次へ發展して行く事の出来るもの、例へば電車を作る、車庫が必要だ、驛がある。鐵橋も、今度はケーブルカーも其處に大きな遊びが展開出て來行く

様なもの。

(八)、科學的興味を持たせるもの

これからはこの方面にも幼児の目を向けさせる様な材料を與へる事が必要である。

其の取扱について

(一)、指導は個性的であつて、個人的でない様に一人々々の子供の個性、能力を知りぬいてそれを少しでも伸長する様に指導する事は忘れてはならないが、之れが假にも個人的競争になる様な事が無い様、結果としては全體的である様に注意する事が必要である。

(二)、技巧に流れず、製作過程を重んずる事

出來上りの巧拙は問題にせず、下手は下手なりに、眞剣に全精神を打ちこんで最後までやりこげさせる様にする事唯、さうかといつて下手でよいこほつておくのでは無く細かい指導は絶えず行つて少しでも幼児が自分なりに満足出来る様にしてやる事は必要だと思ふ、缺の使ひ方、糊のつけ方等にしても。

(三)、物資の用ひ方を指導する事

従来より一層物資の大切である事を感じて無駄にしないう、大切にする習慣をつけたい。一枚の紙の切り方にしても、大きな紙の中央にいきなり缺を入れずに端から使ふこかクレオンの少さくなつたのはごうすれば又使へるか、其の後始末等についても注意する事が必要であらう。又机其他の器具でも注意すれば傷ける事が少ないこ

いふ様な事も経験させたい。

廢物利用 代用品の研究もごん／＼行つて少い物資で効果的な保育を行ふ様にすることは、又そこに幼児に工夫する力を養ひ、家庭まで指導する事が出来て、一石三鳥と言へ様。

(四)、姿勢、場所に注意する事

正しい姿勢で事をする様に。其の場所も、暗い所、直射光線の所で物を書かない等細かい注意が必要。

(五)、環境の整理

美しい畫、美しい配合、美しい形をもつて幼児の環境を作つてやり、美に對する目をやしなつて行く事につとめ、先生自身本當の美を知る修養が必要であらう。

最後に幼稚園で行ふ手技さいふものは、いはゆる單なる手わざではなく、前にものべた様に幼児の身體からぶつかつて行くものであつて、其の點を考へるに、手技さいふ言葉が適切でないさいふ事を感じる。小學校の手工も、今度國民學校に於ては藝能科工作さいふ言葉をもつて表はされ、内容的にも、もつ／＼／廣い深いものをねらつてゐる、物真似をして名を變へたいと言ふのではないが、言葉から受ける感じが、相當に物を支配する事を思ふに、此の際何か改められないものかと思ふ。「製作」さいふはふか、此れも何だか適切でない。

大方諸賢の御一考をわすらはす事を願つて稿を終る。

最新 幼稚園唱歌集

定料 六圓
送料 一圓
發行所 日本幼稚園協會

目次

一、コックフレ	倉橋 惣三作詞	十二、たんぼぼ	大森 敏子作曲
二、幼稚園のお庭	倉橋 信三作詞	十三、すずめ	高城富貴子作曲
三、だるまさん	井上 正子作詞	十四、チューリップ	高城富貴子作曲
四、お洗濯	小松 耕輔作詞	十五、春が来た	久保 紀子作曲
五、汽車	相田 多権作詞	十六、貝拾ひ	池田 孝二作曲
六、雲よ降れ降れ	中山 晋平作詞	十七、うさぎ	宅富貴子作曲
七、煙	辻 孝二作詞	十八、七五三	高城富貴子作曲
八、てんとう蟲	津村 満喜子作詞	十九、鬼ごっこ	土田 孝二作曲
九、春	坊田 かつま作詞	二十、お母さま	高城富貴子作曲
十、お窓の雨	吉田 武士作詞	二十一、てんてん	西村 美奈子作曲
十一、小鳥のおはなし	伊藤 逸子作詞	二十二、春の野花	高城富貴子作曲
最新 幼稚園唱歌集の第二版が出来ました。本會宛てに御注文下さい。	杉山 太郎作曲		宅富貴子作曲

日本幼稚園協會